

# 坂本まちづくり推進協議会たより

## 〈坂本の今〉

### 目 次

巻頭言に代えて.....	1
--------------	---

#### 1. 坂本はどんなところ

1) 坂本地域の位置.....	2
2) 坂本地域の人口と人口推移.....	3
3) 各地域の年齢構成と高齢化率.....	4
4) 各地域の平均年齢.....	5
5) 各地域の人の動き（自然動態）.....	6
6) 各地域の人の動き（社会動態）.....	7
7) 各地域の人の動き（人口動態）のまとめ.....	8
8) 小学校児童数の状況（平成26年度）.....	8

#### 2. 坂本の大きな動き

1) 幼稚園の移転問題.....	9
2) 濃飛横断自動車道.....	9
3) 坂本リニア駅周辺土地区画整理事業.....	10
4) 坂本西部開発（仮称）.....	10
5) リニア関連.....	11
① リニア路線本体	
② 車両基地及びガイドウェイヤード計画	
③ 送電線計画	

平成28年1月発行

## 巻頭言に代えて

唐突ですがタカタ製のエアバッグ問題は未だに収束を見ず、生命を護るための装置で落命させられたのでは、毎日自動車に乗っているユーザーはたまったものではありません。

さて今回はシートベルトから入ります。半月ほど前私は何年振りかで新幹線のぞみに乗車して名古屋東京間を往復しました。安城辺りで気づいたこと、それは時速 270 キロ走行にもかかわらず「シートベルト」着用 of 要請がないことです。バスや乗用車でもベルト着用は義務ですし、航空機ならば離陸前に機長命令でシートベルト着用が強制されます。

新幹線でベルトの心配をしている人は私くらいでしょうが、周りを見ても皆さん安心してビールを飲んでいます。スマホに夢中な人、パソコン開いて仕事をしている人もいます。このように新幹線は相当安全性の高い交通手段と言って過言ではありません。

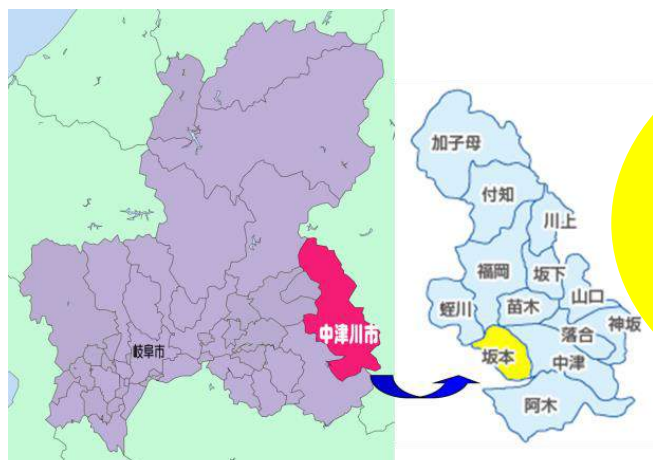
ではリニアではどうでしょう？体験試乗してきた人から訊き、親しい JR マンにも確かめたのですが、時速 500 キロ以上出しても「シートベルトなしで安全」だそうです。

前置きが長くなりましたが、この度坂本事務所の皆さんが「郷土の現状を正しく捉え私たちが、明日への展望を誤らない」ための基礎となる、中津川市と坂本地区における『基本データとその分析』を約半年間かけて纏めてくれました。「その抜粋」と「最近の地域の動き」を本号で区民の皆様にお届けいたします。高齢化、少子化、人口減少問題などを考えるツールとしてご活用下さることを期待するものです。地域で、ご家庭で資料を基に将来を話し合うきっかけにしてください。統計は正しい判断を導き出す基本です。

【坂本まちづくり推進協議会会長・市岡 勉】

# 1. 坂本はどんなところ

## 1) 坂本地域の位置



坂本地域がどんな地域であるかを知るため、人口から坂本地域を眺めてみました。人口関係は基本的には住民基本台帳のデータを使っています。



源根林道から眺めた坂本地域

### 坂本地域の地理的特徴

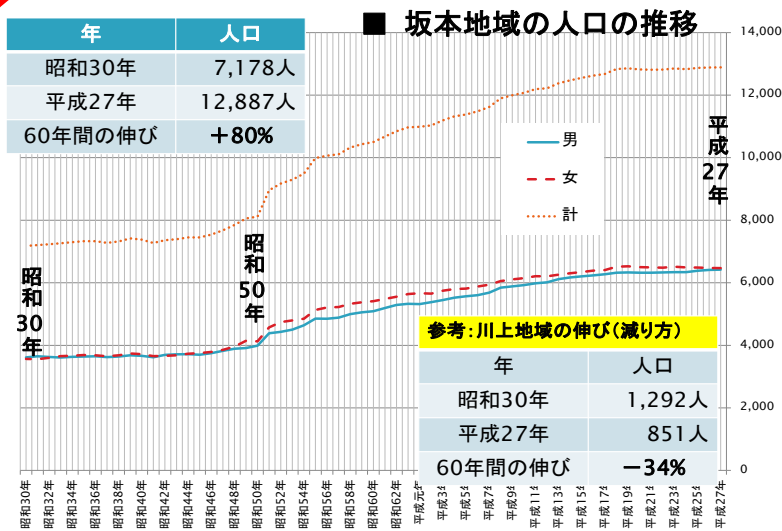
- ・面積は 33.11 K㎡で、中津川市の面積 676.45 K㎡の約 5%
- ・たくさんの交通の幹線・・・JR 中央本線の美乃坂本駅、中央自動車道（中津川インターチェンジ）国道 19 号、等々

### 2027には・・・

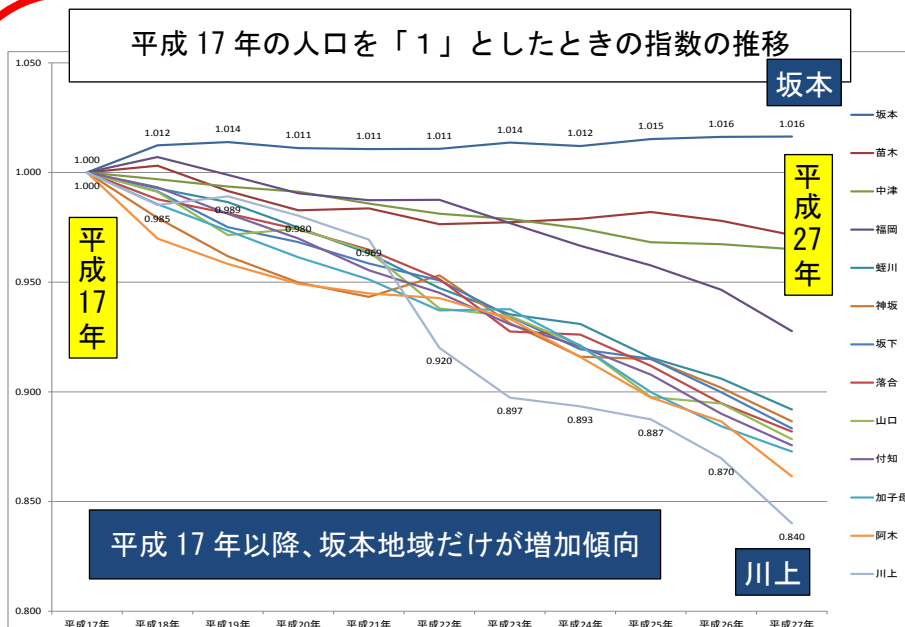
- ・リニア中央新幹線が開通し坂本地区に岐阜県の駅、車両基地等々
- ・濃飛横断自動車道の建設（岐阜県）
- ・駅周辺の区画整理事業の推進（中津川市）
- ・中津川市と恵那市を結ぶ都市間道路

## 2) 坂本地域の人口と人口推移

- 坂本地域の人口はおよそ 13,000 人
- 千旦林：約 5,500 人、茄子川：約 7,400 人（43 対 57）
- 中津川市の人口（80,000 人）の約 16%



昭和 40 年代後半までは  
ほぼ横ばいですが、昭和  
50 年からの 5 年間で大  
幅に増え、その後も継続  
的に増えています。

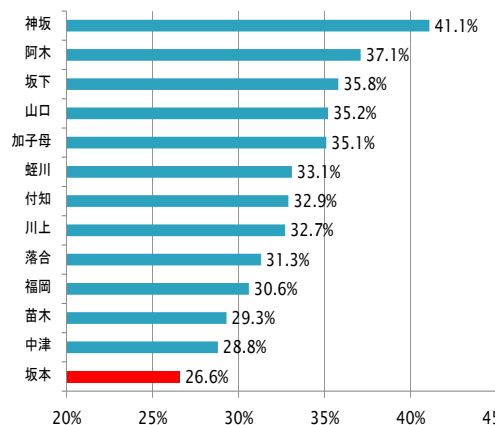


中津川市全体として  
減少傾向にある中  
で、坂本地域だけは  
微増が続いていま  
す。

### 3) 各地域の年齢構成と高齢化率

地域	高齢者人口 (65歳～)		生産年齢人口 (15～64歳)		年少人口 (0～14歳)	
	割合	順位	割合	順位	割合	順位
中津	28.8%	12	57.8%	2	13.4%	3
苗木	29.3%	11	57.2%	3	13.5%	2
坂本	26.6%	13	58.1%	1	15.3%	1
落合	31.3%	9	56.2%	5	12.5%	6
阿木	37.1%	2	52.0%	12	10.9%	12
神坂	41.1%	1	47.1%	13	11.8%	9
山口	35.2%	4	54.5%	8	10.3%	13
坂下	35.8%	3	52.7%	11	11.5%	10
川上	32.7%	8	54.1%	9	13.2%	4
加子母	35.1%	5	53.7%	10	11.2%	11
付知	32.9%	7	55.0%	6	12.1%	7
福岡	30.6%	10	56.4%	4	13.0%	5
蛭川	33.1%	6	54.8%	7	12.1%	8
市全体	30.5%		56.4%		13.1%	

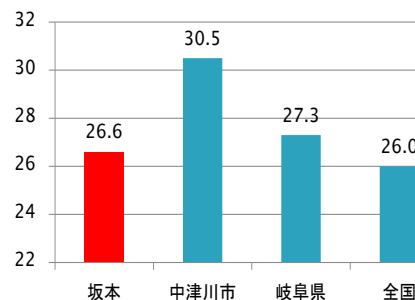
#### ■各地域の高齢化率



※高齢化率：65歳以上の人の割合

#### ■坂本地域の高齢化率

- ▶ 坂本の高齢化率は26.6% (H27.7)
- 中津川市全体:30.5%
- 岐阜県:27.3% (H26)
- 全国:26.0% (H26)



- ▶ 坂本地域の高齢化率は「26.6%」で、市全体の30.5%を下回っており、地域ごとの比較では一番低い。
- ▶ 神坂地域は40%を超える高齢化率になっており、深刻な高齢化が進んでいると言えます。
- ▶ 年少人口を見ると、坂本地域は15.3%で、市内で一番高くなっており、他地域との比較では「高齢者が少なく、子どもが多い地域」であると言えます。

## 4) 各地域の平均年齢

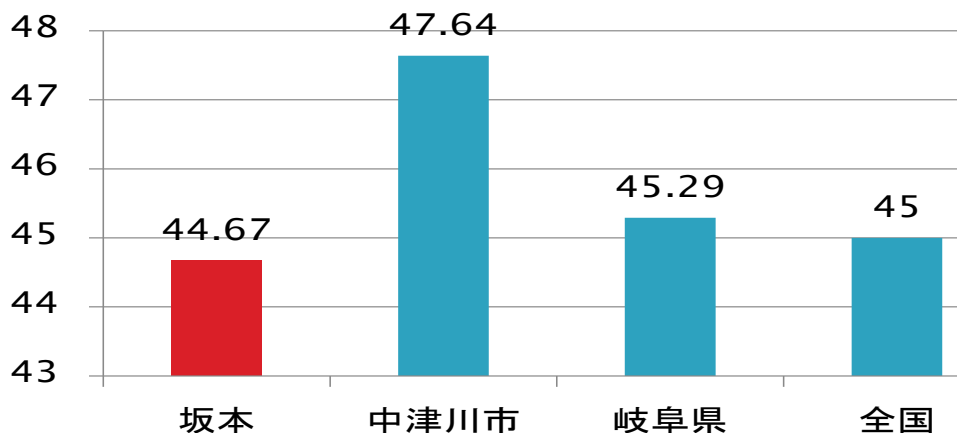
地域	人口			平均年齢			
	女	男	計	女	男	全体	順位
中津	14,033	13,283	27,316	48.34	44.54	46.49	12
苗木	3,213	3,087	6,300	48.78	44.84	46.85	11
坂本	6,469	6,426	12,895	46.14	43.19	44.67	13
落合	1,921	1,893	3,814	50.53	46.24	48.40	9
阿木	1,234	1,124	2,358	54.98	48.85	52.06	2
神坂	430	387	817	58.94	50.50	54.94	1
山口	942	850	1,792	53.53	49.30	51.52	3
坂下	2,489	2,323	4,812	52.31	48.48	50.46	5
川上	431	410	841	51.60	46.68	49.20	8
加子母	1,556	1,462	3,018	52.88	49.38	51.18	4
付知	3,082	2,860	5,942	52.17	47.12	49.74	6
福岡	3,535	3,278	6,813	50.17	46.06	48.19	10
蛭川	1,782	1,656	3,438	52.25	46.59	49.52	7
計	41,117	39,039	80,156	49.62	45.55	47.64	

※ データ:平成27年7月30日現在、住民基本台帳

※ 平均年齢は平成27年7月30日現在の満年齢の平均値(一年未満の日数は考慮していない)

### 坂本地域の平均年齢

- ▶ **平均年齢は 44.67 歳** (H27.7) (女:46.14、男:43.19)
  - 中津川市全体:47.64 歳
  - 岐阜県:45.29 歳 (H22)
  - 全国:45.0 歳 (H22)



- 坂本地域の平均年齢は 44.67 歳で、地域ごとにみると一番若い。
- 平均年齢が一番高い地域は神坂地域で、坂本地域とは 10 歳も差があります。
- 地域別に見ると、神坂地域の次に高い地域は阿木地域で、以下、山口地域、加子母地域、坂下地域の順になっています。

## 5) 各地域の人の動き（自然動態）…出生数

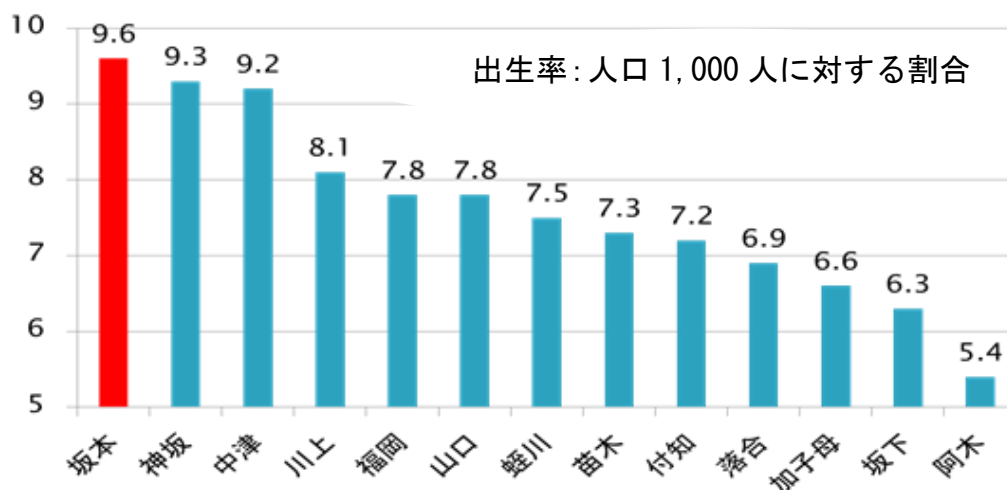
### ■地域ごとの生まれた人の数の推移（平成17～26年）

【単位：人】

年	中津	苗木	坂本	落合	阿木	神坂	坂下	川上	加子母	付知	福岡	蛭川	山口	外国人	総合計
17年	253	42	130	33	13	5	30	8	28	51	51	27	18	5	694
18年	269	53	123	31	13	4	26	5	25	53	65	26	11	6	710
19年	266	36	130	33	16	7	39	8	22	40	54	37	16	0	704
20年	222	47	135	34	9	11	37	12	23	50	63	26	12	2	683
21年	261	33	117	26	16	4	28	6	18	39	62	26	21	8	665
22年	259	45	127	26	14	11	24	6	22	38	60	22	11	5	670
23年	246	51	120	21	12	7	25	4	19	50	49	27	13	2	646
24年	247	57	127	25	14	7	32	9	19	36	52	21	16	5	667
25年	250	51	125	14	16	13	31	3	11	40	51	25	13	0	643
26年	251	49	102	24	7	7	34	9	13	35	33	23	9	5	601

- 坂本地域は毎年120人くらい生まれています。

### ■出生率の比較（平成17年から26年までの10年平均）



- 坂本地域が最も高く、神坂地域が2番目に高い。反対に、最も低い地域は阿木地域となっています。



## 6) 各地域の人の動き（社会動態）…転入と転出、市内での転居

### ●転入－転出の推移

(単位:人)

	中津	苗木	坂本	落合	阿木	神坂	坂下	川上	加子母	付知	福岡	蛭川	山口	外国人	総合計
17年	△4	1	32	△4	△42	△7	△24	2	9	△31	△6	△10	△29	13	△100
18年	△89	△50	△6	10	△5	2	△28	5	△20	△29	16	△20	△25	30	△209
19年	△138	△33	△81	△27	△7	△4	△12	△11	△14	△26	△52	△13	11	42	△365
20年	△125	21	△19	△4	△12	7	△2	△6	△30	△17	△20	△16	△11	102	△132
21年	△99	△61	△86	1	△22	0	△3	△13	△23	△24	1	△27	△7	△169	△532
22年	△109	△13	△3	△33	36	3	△28	△14	0	△34	△51	△42	△11	△27	△326
23年	△41	△6	△26	3	△18	△12	△4	△1	21	△38	△21	△6	△6	40	△115
24年	△155	△4	19	△5	△18	4	△18	3	△39	△12	△23	△22	△14	6	△278
25年	△3	14	△11	△24	△2	△5	△3	5	△20	△44	△27	△35	2	△31	△184
26年	△9	△33	△56	△30	△16	△2	△43	△6	0	△17	△35	△17	0	0	△264

※△はマイナスを表します。マイナスは転入より転出が多いことを表しています。

- どの地域もマイナスが目立ち、転入より転出が多い傾向にあります。

### ■市内での転居者の動き（マイナスは他地区への転居が多い場合）

市内の地域間での転居の状況です。マイナスは他地域への転居が多いことを表しています。

	中津	苗木	坂本	落合	阿木	神坂	坂下	川上	加子母	付知	福岡	蛭川	山口	総合計
17年	△122	53	86	△32	0	△22	2	△9	△10	22	20	△9	21	0
18年	33	3	38	△16	8	9	△24	△2	△16	2	△8	△10	△17	0
19年	0	△6	32	△21	3	△6	△20	10	3	△27	30	△9	11	0
20年	△13	45	41	△26	29	△4	△17	0	△8	△18	△10	△16	△3	0
21年	△55	49	9	△39	7	22	△16	△14	1	11	37	△13	1	0
22年	37	28	△8	△32	10	6	6	△12	△8	△1	△8	0	△18	0
23年	△33	72	10	△12	△5	△1	△31	△1	△5	△7	△5	7	11	0
24年	△30	45	34	△29	△2	8	10	△4	△3	1	2	△10	△22	0
25年	△20	23	10	△14	13	△9	10	△8	△13	△3	15	△4	0	0
26年	△29	60	53	△9	4	4	△2	△10	△3	△18	△38	△1	△11	0
10年計	△232	372	305	△230	67	7	△82	△50	△62	△38	35	△65	△27	0

- 坂本地域は、苗木地域に次いで、他地域からの転居が多くなっています。



## 7) 各地域の人の動き（人口動態）のまとめ

■ 平成 17～26 年の合計

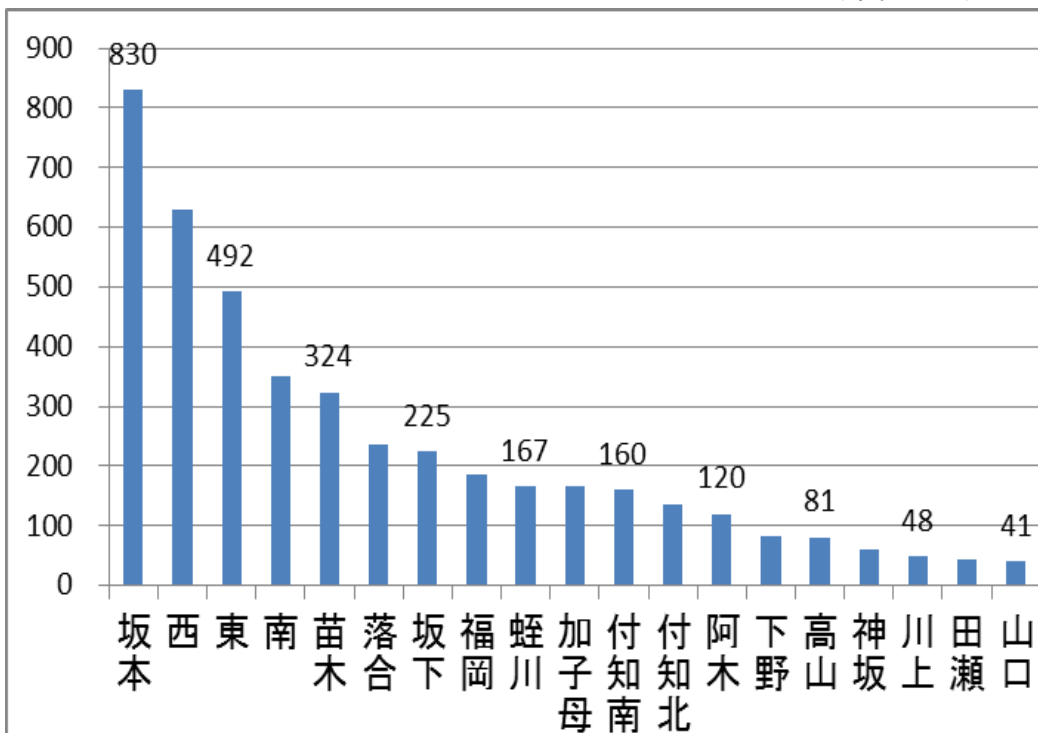
(単位：人)

地域	出生-死亡	転入-転出	市内転居	計
中津	△44	△772	△232	△1,048
苗木	△388	△164	372	△180
<b>坂本</b>	<b>183</b>	<b>△237</b>	<b>305</b>	<b>251</b>
落合	△167	△113	△230	△510
阿木	△326	△106	67	△365
神坂	△117	△14	7	△124
坂下	△376	△165	△82	△623
川上	△65	△36	△50	△151
加子母	△242	△116	△62	△420
付知	△500	△272	△38	△810
福岡	△310	△218	35	△493
蛭川	△135	△208	△65	△408
山口	△126	△90	△27	△243
外国人	20	6	0	26
総合計	△2,593	△2,505	0	△5,098

◇ 自然動態（出生死亡）、社会動態（転入、転居）の合計がプラスなのは坂本地域だけです。

## 8) 小学校児童数の状況（平成 26 年度）

(単位：人)



坂本小学校は 800 人を超えるマンモス校で  
山口小学校の 20 倍の児童数！

## 2. 坂本の大きな動き

### 1) 幼稚園の移転問題

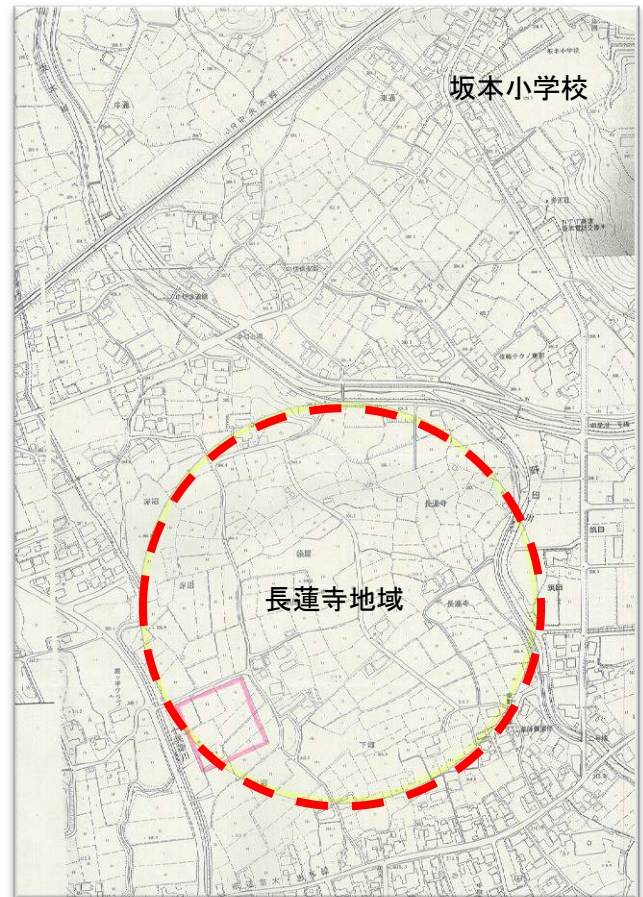
坂本幼稚園の移転問題については、今春発表された候補地「大沼地区」は地権者の同意が整わず正式断念となる見込みです。

市教委では様々な要件を一つでも多くクリアできる箇所を、大沼地区除きで選定中です。

現状教委では、国の方針でもあります幼保一体の「認定こども園」として開設することが検討されています。

地元としては「早期実現」を第一義として、市に対して引き続き要望を出して行く予定です。(なお、用地買収は当該地の地権者相互に微妙な利害関係が、発生する可能性が高いので、市当局には慎重に計画を遂行するようお願いしています)

長蓮寺地域位置図



### 2) 濃飛横断自動車道

平成 27 年 10 月 8 日に開催された「岐阜県都市計画審議会」において、棚上げされていた計画案は原案通り承認され新しい段階に入りました。

保護すべき稀少動植物の生息調査のうち、営巣繁殖が確実な「オオタカ」等は単年での調査では十分とされないことがあります。

そうしたことを含め、現在、岐阜県はコンサルタント会社に委託して総合的な環境調査を継続中です。

今後の見通しについては、引き続き岐阜県に対し今後の計画遂行予定など説明を求め、可能となった部分から公開して行く予定です。

### 3) 坂本リニア駅周辺土地区画整理事業

市が坂本リニア駅周辺土地区画整理事業検討委員会を立ち上げ、地権者及び借地権者を対象に、アンケート調査を実施し、これらを取りまとめて、年度内に、予定範囲の絞り込みを行い、事業区域が決定されます。

また、駅前広場については県と市が詳細な図面を作成中です。

なお、現在の区画整理事業の調査範囲は以下の図の赤い範囲です。



### 4) 坂本西部開発（仮称）

市はリニア開業を見据えた「働く場所」の創出に向けた取組みとして、坂本西部の二軒屋近くに企業誘致を計画しています。

平成 27 年度は検討区域の全体調査と、工場用地適地（基本構想）調査を実施しています。

#### 検討区域全体調査の内容

- 境界立会：土地境界の確認
- 仮測量：境界位置について座標の測定
- 図面作成：座標を都市計画図等へ転写し、位置図を作成

#### 工場用地適地（基本構想）調査の内容

- 各種調査：各種規制、自然環境等の調査
- 条件整理：開発に係る規制等の条件整理
- 可能性調査：計画図及び概算工事費の算出
- 採算性検討：事業化における採算性の検討



## 5) リニア関連

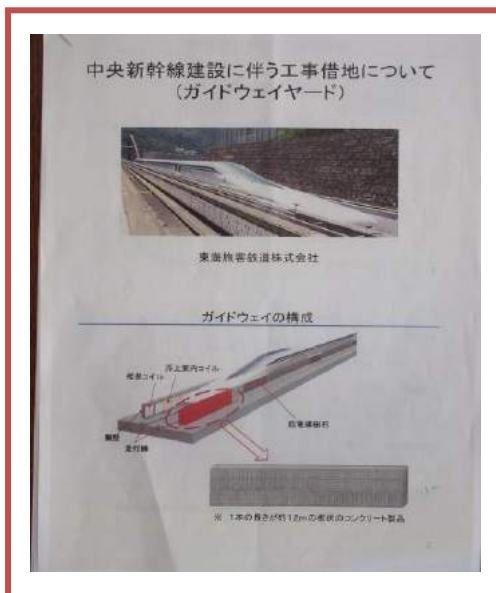
### ①リニア路線本体

中心線測量や設計協議がほぼ終わり、リニア路線に係る土地についての鑑定評価とトンネル部についての井戸調査を実施しています。

### ②車両基地及びガイドウェイヤード計画

- 車両基地については、井戸の調査、鑑定評価、用地測量等が進行中です
- ガイドウェイヤードについては、各県に一カ所ずつ設定し、岐阜県では千旦林北部地域に計画されています。その規模は10ha以上の予定です。
- 車両基地とガイドウェイヤードの建設で坂本関連区と中津川の共栄区で情報・問題共有連絡協議を開始しています。

### ガイドウェイの構成



### ガイドウェイヤードのイメージ図



### ③送電線計画

中部電力が、車両基地や岐阜県駅等の施設への電力供給のために、今後10年間かけて、送電線を引く計画を立てています。

- 調査・測量：測量調査、地質調査、仮設調査
- 用地調査：補償協議、契約、登記
- 工事：基礎工事、組立工事、電線工事

### ガイドウェイの運搬

### 主な通行車両のイメージ



発行：坂本地域まちづくり推進協議会 連絡場所：中津川市坂本事務所  
発行責任者：市岡勉 編集責任者：安藤鉦治